

PRESS RELEASE



尚絅学院大学

Passion with Mission

熱い心、響かせる

リリース日：2025 年 5 月 23 日

尚絅学院大学 生涯学習講座 「尚絅オープンユニバーシティ」 「はじめてのウェルビーイング統計学」のご案内

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

近年、“Well-being”という言葉を見聞きする機会が増えてきました。”Well-being “には主観と客観を表す指標があり、客観的指標を理解するためには統計学が威力を発揮します。
この講座では、高校で学ぶ統計学の範囲に軸を置き、“Well-being “や統計学の基礎・基本の指標について学びます。

ご多忙の折恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

■ 「はじめてのウェルビーイング統計学」

日 時： 5/24（土）・6/21（土）・7/5（土）・7/19（土） {全4回} 14:00～15:30

講 師： 高谷 将宏（尚絅学院大学客員教授）

会 場： 尚絅学院大学長町サテライトプラザ（たいはつくるイオプラザ1階）

受 講 料： 6,400 円（全4回分） ※事前申込が必要です。

対 象 者： 高校生以上で統計学と Well-being に興味のある方

※取材をご希望の場合は、たいはつくるイオプラザに事前連絡が必要となります。詳細は交流推進課までお問い合わせください。

<本件担当者>

尚絅学院大学 交流推進課

担当：高橋 幸子

電話：022-381-3315

Mail：koryu@shokei.ac.jp

<お問い合わせ先>

尚絅学院大学 教育研究支援課

大学広報室：清野 正恵

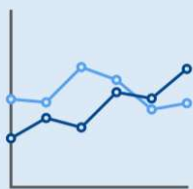
電話：022-381-3501

Mail：ksien@shokei.ac.jp

尚絅学院大学 生涯学習講座「尚絅オープンユニバーシティ」

はじめての

ウェルビーイング



統計学



【講師】 高谷 将宏

(尚絅学院大学 客員教授)

受講料
6,400円

【日時】 全4回 土曜日・14:00～15:30

5月24日／6月21日／7月5日／7月19日

【場所】 尚絅学院大学 長町サテライトプラザ

お申込について

受付期間 4月24日～5月21日 午前10時

お申込・講座の詳細は、

尚絅学院大学 生涯学習講座



※お申込はインターネットからのみ受け付けております。



25C09

はじめてのウェルビーイング統計学

関連する SDGs :



申込フォーム

スマートフォンからも
お申込みできます

期 間 : 2025 年 5/24 (土) ~ 7/19 (土) [全 4 回]

場 所 : 尚綱学院大学長町サテライトプラザ

〒982-0011 仙台市太白区長町 5-3-1

たいはっくるイオプラザ 1 階

時 間 : 14:00~15:30

対 象 者 : 高校生以上で統計学と Well-being に興味がある方

教 材 : こちらで用意します

修了要件 : 3 回以上出席した方に修了証を発行予定です。

定 員 : 15 名
 最少催行人数 : 10 名
 受 講 料 : 6,400 円

受講生へのメッセージ

☆☆☆ レベル 1:

個別にあてて解答を求めることはしません。Σや∫をできるだけ使わずに説明します。扱う範囲は統計検定®3 級を想定しています。※統計検定®は一般財団法人統計質保証推進協会の登録商標です。

“Well-being”という言葉を見聞きする機会が増えてきました。“Well-being”には主観と客観を表す指標があります。客観的指標を理解するためには、統計学が威力を発揮します。そこで、高校で学ぶ範囲に軸を置き、“Well-being”も扱います。統計学の基礎・基本に再挑戦してみませんか？

日程	テーマ・内容	講 師
第 1 回 5/24	第 1 回__「なぜ “Well-being” に統計学が必要なのか」 ・ “Well-being” の概要を紹介した上で、なぜ、統計学を必要とするのかを説明します。データと情報の違い、データサイエンスと本講座の違い、データの性質・尺度、有意と無作為、統計学における実験、グラフでの表し方を取り上げます。	高谷 将宏 尚綱学院大学 客員教授
第 2 回 6/21	第 2 回__「データを扱ってみよう」 ・ 実際の値を基に 1 変数と 2 変数のデータを表で表してみます。また、時間の推移を扱う時系列データ、平均値などの代表値、散らばりを表す分散について再確認します。また、高校から中学に移行した箱ひげ図も念のため確認します。	
第 3 回 7/5	第 3 回__「関係性を数値で表そう」 ・ 内容 相関関係と因果関係、言葉から復習します。その上で、どのような注意点があるのかを確認します。また、レベル 1 相当の範囲内で、回帰直線に触れていきます。“Well-being” とすこし離れますが、確率にも挑戦します。	
第 4 回 7/19	第 4 回__「推測してみる」 ・ 「統計学的に有意である」という表現に触れることがあると思います。これはどのような意味でしょうか？ 深入りせず、意味を中心に確認していきます。最後に、客観的 “Well-being” の指標について、これまで学んだことを基に理解を試みます。	